

学問の秋・スポーツの秋・文化の秋。

文責 学校長



～中間考査・学年末考査に向けて計画的な学習を～

1 囲碁選手権大会で男子個人優勝・準優勝。2名が九州大会へ。

10月3日(日)に行われた「佐賀県高校総文祭・囲碁選手権大会」の男子個人19路盤の部・9路盤の部で、本校の小柳壮生くん(2-3)が優勝、神田陽向くん(1-2)が2位に輝き、2名ともに九州大会への出場を決めました。

2 「武雄市高校生まちづくり参画事業」の報告会を行いました。

9月30日(金)の10時から武雄市役所の市民ホールにおいて、武雄市との協働プログラムである「高校生のまちづくり参画事業」の報告会を行いました。市民協働課長の挨拶に続いて、各班5～6名のグループで計7班が、それぞれの取り組んだテーマについて報告を行いました。今回は西九州新幹線の開業に絡めたテーマも多く、開業イベントでも活躍した様子が報告されました。各藩のテーマは、A班「若い世代に高い防災意識を」、B班「武雄の観光スポット発信」、C班「武雄市のイベントカレンダーをつくろう!」、D班「グルメマップを作ろう!」、E班「子くスポ」、F班「武雄市のおススメスポット調査をアート作品に」、G班「伝統文化の発信!」で、各班ともコロナ禍第7波の逆境に負けず、工夫して独自のイベント開催や情報発信等に取り組んだ成果が窺えました。ご協力いただいた地元の店舗・事業所、そしてご指導いただいた武雄市役所のご担当の皆様に厚く感謝申し上げます。報告会の模様はCable-oneで放映される予定です。



3 進路講演会を開催しました。

9月29日(木)に、1・2年生を対象に「進路講演会」を行いました。講師はベネッセコーポレーション・九州支社の石野慧太様にお越し、1年は「文理選択に向けて」、2年は「3年生までもう少し! 第1志望合格に向けてこれからの時期の学習を考える」と題して、現時点での心構え・学習への取り組み方について話していただきました。



4 今週の名言・・・アントニオ猪木の言葉です。

○この道を行けばどうなるものか、危ぶむなかれ。危ぶめば道はなし。踏み出せばその一足が道となり、その一足が道となる。迷わず行けよ。行けばわかるさ。



【解説】10月1日に亡くなったアントニオ猪木氏の言葉です。1976年に行われた「格闘技世界一決定戦、猪木vsモハメド・アリ」の世紀の一戦は、当時の視聴率が50%を超えるほど日本中が注目した一戦でした。この「道」と題されたこの有名な言葉は、1998年に東京ドームで実施された引退記念試合後のスピーチで猪木氏が披露した詩です。日本プロレス入団、アメリカ武者修行、新日本プロレスの旗揚げ、そして、「プロレスこそ全ての格闘技の頂点である」ことを証明するためにボクシング世界チャンピオンのモハメド・アリとの異種格闘技戦など誰もが踏み出さなかった「一足」を踏み出し、自ら道をつくり続けた猪木氏の人生そのものを表現しているようです。政界に進出後も、湾岸戦争直前にイラクへ単身で乗り込み、誰もできなかった人質解放を実現。また当時は批判を浴びましたが、北朝鮮にも何度も訪朝し、対話の糸口を見出そうとした行動力は、他の政治家にはないまさに「闘魂」の現れでした。

5 今週の話成語・・・「人生意気に感ず」【問題】英語で表現すると?

人生意気に感ずとは、人は利害や打算で行動するのではなく、相手の心意気に感動して動くものだという事。(出典：魏徴・詩『述懐』より)



【由来】「意気」とは、やり遂げようとする積極的な気持ちのこと。人は金銭などの欲や、名誉のために行動するものではないといういましめ。魏徴の詩『述懐』にある「人生意気に感ず、功名誰か復た論ぜん(人生は心意気を感じて行動するもので、功名のことなど誰が問題にするものか)」に基づく。

6 入試によく出る漢字(その50)・・・センターテスト(1990年度本・追試験)に挑戦!

- | | | |
|-------|----------------------------------|-------------|
| 【本試験】 | (1) ふすまや障子がその【コウ】レイであり、..... | [公・行・恒・交・好] |
| | (2) 部屋の境界は【カ】ヘン的である。..... | [加・可・仮・化・価] |
| | (3) ふすまをはずすといたつソウ【テイ】を入れれば、..... | [呈・定・提・訂・底] |
| | (4) それももちろんダ【トウ】な説明である。..... | [倒・投・当・党・踏] |
| | (5) 【ハン】ゼンとしない色彩相互の浸透、..... | [判・版・伴・煩・般] |
| 【追試験】 | (1) 私たちは【キン】シツに楽しんでるのだからか。..... | [禁・均・繁・近・筭] |
| | (2) 少し【イ】な感じがしたおぼえがある。..... | [易・囲・移・為・筭] |
| | (3) 【シン】ソツなほめ言葉として使われる。..... | [新・信・心・真・進] |
| | (4) 言葉に【シュウ】ヤクされているような、..... | [集・拾・収・修・周] |
| | (5) 楽しむことはおおっぴらにショウ【レイ】され、..... | [例・励・礼・冷] |

7 今週の一冊・・・高瀬隼子の『おいしいごはんが食べられますように』(講談社)です。

第167回芥川賞受賞! 「二谷さん、わたしと一緒に、芦川さんにいじわるしませんか」心をざわつかせる、仕事+食べもの+恋愛小説。職場でそこそこうまくやっている二谷と、皆が守りたくなる存在で料理上手な芦川と、仕事ができがんばり屋の押尾。ままたまらない微妙な人間関係を「食べること」を通して描く傑作。(参考:本書裏表紙説明より)



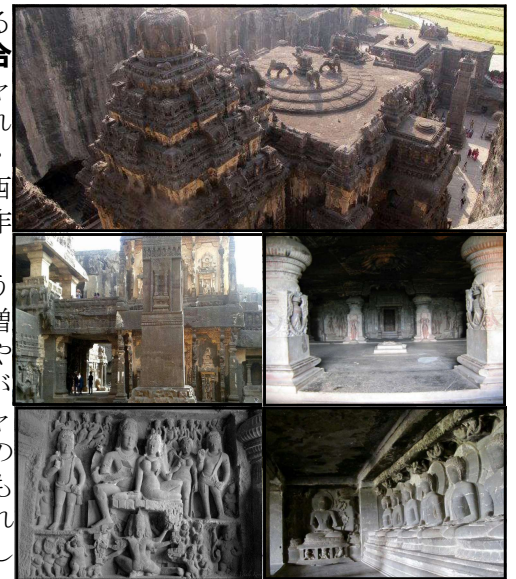
【解説】第167回芥川賞受賞作品です。前回の直木賞と合わせて購入し読んでみました。芥川賞作品にありがちな、独特の世界観が描かれています。身近にありそうな職場の、ありそうな人間関係が描かれており、思わず「あるある」と共感してしまう人間模様です。グルメな食べ物も登場しますが、「美味しいごはん」が必ずしも万人に共有できるものではないということも痛切に描かれており、食について考える小説ともなっています。主要な登場人物の関係も一人称と三人称の二つの視点を導入することで、相互の人間関係を立体的に描き出す工夫も独特で、読み始めは慣れないかも知れません。ただ、最後の結末には「うーん」と首を捻ってしまい、物足りなさを感じてしまったのは私だけでしょうか。

【作者・高瀬隼子について】1988年愛媛県生まれ。立命館大学文学部卒業。2019年「犬のかたちをしているもの」で第43回すばる文学賞を受賞し、デビュー。他に『水たまりで息をする』がある。(参考:本書の著者紹介文より)

8 世界遺産を巡る・・・第75回はエローラ石窟群(インド)

(登録:1983年)

【解説】エローラ石窟群は、インドのムンバイの北東350kmのところにあるアウランガーバード郊外にある世界遺産です。3つの宗教建築が同じ場所に集合している、世界でも類を見ない遺跡です。インドには他にも石窟群があり、アジャンター石窟群、エレファンタ石窟群、エローラ石窟群でインド三大石窟と呼ばれています。エローラ石窟群は、5~10世紀にかけて造られた**仏教**(12窟)・**ヒンドゥー教**(17窟)・**ジャイナ教**(5窟)の石窟寺院群です。石窟は、東から西へ向かって新しい年代のものになっています。仏教石窟は、5~7世紀頃に作られました。2種類の構造があり、ヴィハラー窟とチャイティヤ窟があります。静寂に包まれた石窟の内部は、仏教で最も重要な**涅槃の境地**を表しているそうです。エローラの仏教石窟のほとんどを占める石窟です。ヴィハラーとは「僧房、僧院」の意味で、僧たちはここで生活し瞑想しました。そのため瞑想室や庫裏が残されています。チャイティヤ窟には仏塔もしくは堂塔があり、仏陀が祀られていて、仏殿や本堂のような役割を果たしていました。初~中期のチャイティヤ窟には、最奥の仏間の中央に仏像が祀られていましたが、後期のものにはホールがあり、最奥にストゥーパを背にした仏像が祀られています。最も有名なものが、第10窟のヴィシュヴァカルマ窟で、「**大工の石窟**」とも呼ばれています。最後期に作られており、天井の高いホールや、ストゥーパを背にした仏陀像の見事さが知られています。(参考:「世界遺産人気ランキング」より)



9 街角グルメを訪ねて・・・第75回は佐賀市の「ひびの食堂」です。

場所は、県道260号線(東与賀佐賀線)を佐賀市内から南に東与賀方面に行くと、「東与賀支所前」の交差点があるので、そこを通り越して、すぐにカーブがあり左手に「ひびの食堂」があります。こじんまりとした定食屋さんで見落とし勝ちですので、カーナビでセットして行かれることをお勧めします。お店は、L字の建物でその一部が店舗となっています。駐車場は5台ほどのスペースです。ひびの食堂は、美味しい定食が味わえるお店で、定食の種類も多く、お昼時は地元の方のお客さんで一杯になります。早めに行くか、お昼時を避けるのが賢明です。一押しはチキン南蛮定食ですが、この日は**本日の定食**(10食限定税込820円)と**ミックスフライ定食**(税込み850円)を注文しました。本日の定食は、この日は「**白身フライ・焼さば・焼売・卵焼き・茄子の煮びたし・きんぴらごぼう・とり天・ゲソ天・サラダ**」とボリュームミでした。ミックスフライ定食は、「メンチカツ・エビフライ・白身フライ・南瓜のコロッケ・カニクリームコロッケ」の中からお好みで3品が選べます。この日は「**メンチカツ・エビフライ・白身フライ**」を選択。こちらもボリュームたっぷり満足感のある定食でした。他にも、「焼さば定食(税込830円)」、「焼さんま定食(税込830円)」、「煮魚定食(さば)(税込830円)」、「とり天定食(国産若鶏使用)(税込830円)」、「唐揚げ定食(国産若鶏使用)(税込850円)」、「チキン南蛮定食(国産若鶏使用)(税込850円)」、「ハンバーグ定食(和風(ジャポネ)・デミグラス・おろしポン酢)(税込920円)」などがあります。丼物も親子丼・カツ丼・ソースカツ丼・牛とじ丼などがあります。



住所は、佐賀市東与賀町大字田中585です。

10 保護者の皆様へ・・・1年生のお子様は「スタディ・サプリ」を活用していますか?

今年度の1年生にはデジタル教材として英語学習用の「スタディ・サプリ」を導入しています。授業でも活用していますが、家庭学習としても活用できるようにしていますので、お子様が家庭学習で使っているか確認してみてください。英語が苦手な生徒にもおススメです。解説の動画等も充実していますので、是非活用させてください。

【英語】◇heart is won by heart

【正解】【本試験】(1)好例(2)可変(3)想定(4)妥当(5)判然

【追試験】(1)均質(2)奇異(3)真率(4)集約(5)奨励